

みずほの教育

MIZUHO BOARD OF EDUCATION



令和3年(2021)2/1
第36号(年3回発行)
編集・発行:瑞穂町教育委員会
〒190-1292 瑞穂町大字箱根ヶ崎2335
TEL 042-557-6682 FAX 042-557-2693
<https://www.town.mizuho.tokyo.jp/kyoikuiinkai/index.html>



人と人が かかわり合って 文化・教養をはぐくむまち みずほ

ギガスクール 構想に備える / コロナ に立ち向かう

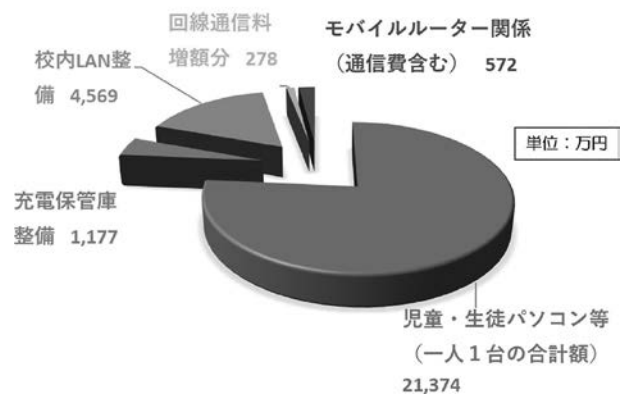
1 序論

新型コロナウイルス感染症・緊急事態宣言等、前例のない事態の中で、子どもたちへの「学びの保障」がクローズアップされました。瑞穂町では4・5月の緊急事態宣言・学校一斉休校(学校閉鎖)の中、オンライン授業を計15日分、1日当たり3～4時間の時間割に沿って、全小・中学校しかも全学年(小学1年生から中学3年生まで)で進めることができました。大変困難な状況下ではありましたが、瑞穂町立小・中学校の先生方の果敢なる協力を得てできたことは画期的であったと考えています。多くの子どもたちが家庭でパソコンやスマートフォンを視聴しながら授業を受けることができ、少なからずとも「学びの保障」に近づけることができたと考えています。

しかし、このオンライン授業は急ごしらえもので、動画視聴タイプのものでありました。子どもたちは家庭等での視聴を通じて分かりにくいところは何度も再生し確かめることができる利点があった反面、一方通行型であったため、先生方が子どもたちの表情を読み取りながら進める、普通の授業のような形での授業はできませんでした。

一方、国ではコロナ禍をきっかけとし、超スマート社会(Society 5.0^{*1})を生きる子どもたちに相応しい、誰一人取り残すことのないよう個別最適化され、創造性を育む学びの実現をするため、一人1台のタブレット型パソコンと学校における高速通信ネットワークを前倒して整備することにしました。これがいわゆるGIGAスクール構想です。この実現のために国は区市町村自治体に支援することになりました。この機会を捉えて瑞穂町でもGIGAスクール構想の実現に向けて動き出しました。予算面では、令和2年第3回瑞穂町議会(9月)で令和2年度の補正予算の議決を皮切りに、順次準備を進めています。子どもたちへの一人1台のパソコンは令和2年度末に配備する予定です。

GIGAスクール構想経費見込総額2億7,970万円の内訳



※1 Society 5.0

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。現在はSociety 4.0(情報社会)と言われており、情報があふれて、必要な情報分析・共有に課題が見られます。

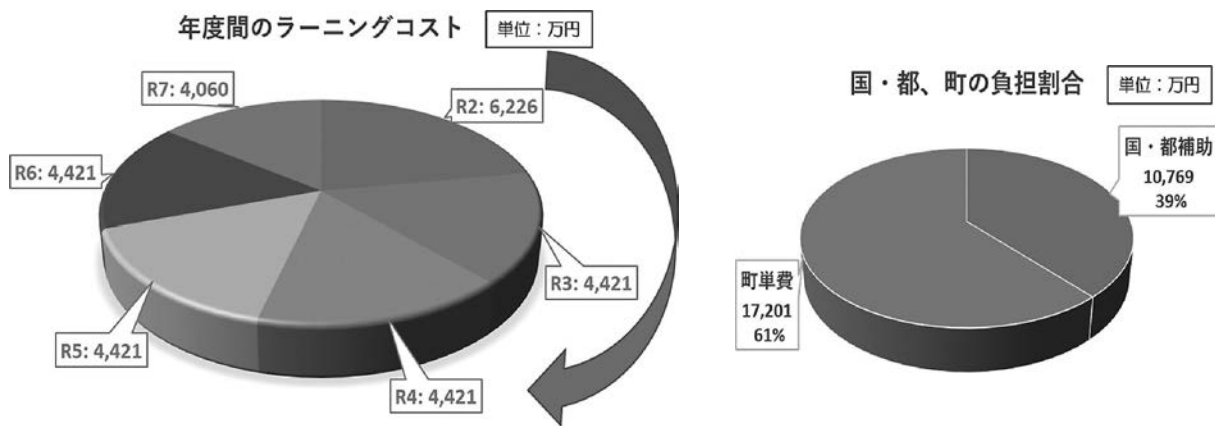
みずほっ子目標

- み みずほを愛し 発展させるひと
- ず ずっと社会とかかわる 優しいひと
- ほ ほがらか 明るく 夢を語るひと

児童・生徒数(令和3年1月1日現在)

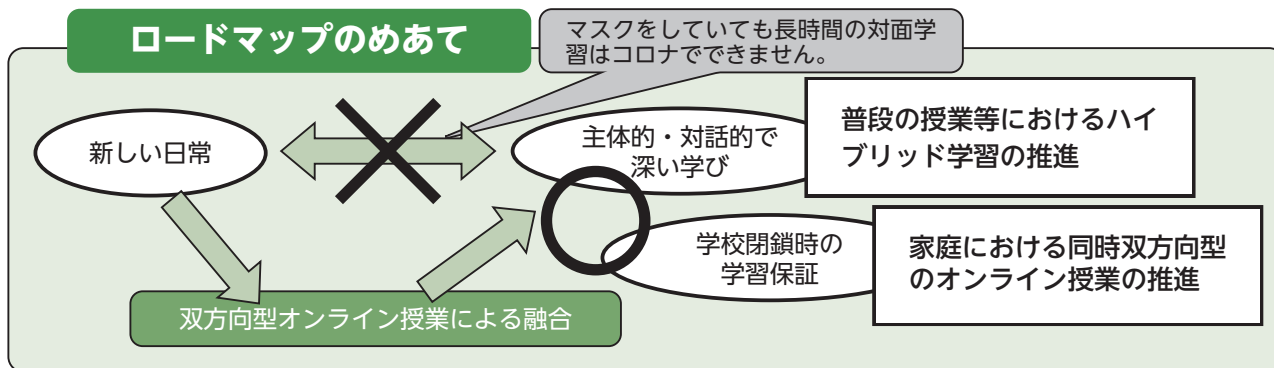
単位:人

| 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 小学校計 | 瑞中 | 二中 | 中学校計 | 小・中学校合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|------|---------|
| 376 | 240 | 278 | 394 | 230 | 1,518 | 440 | 345 | 785 | 2,303 |



2 一人1台のパソコン時代やウイズコロナに今から備える

町教育委員会では、今あるタブレット型パソコン（1校45台）や大型モニターを活用し、令和3年度当初から始まる児童・生徒一人1台のパソコン時代、ウイズコロナを見通して、児童・生徒、先生方は今からパソコンに慣れていく必要があると判断しました。そこで、ロードマップを令和2年8月に定め、8月末からこれに基づき行動を進めてきました。



ロードマップに基づく行動



学校の朝会等を同時双方向型のオンラインで始めました。校長先生は子どもの表情を確かめながらお話をすることができ、子どもたちも集中して話が聞けました。



各校の校長先生方が写しだされています。

9月校長連絡会（校長先生方と教育委員会との定例会）をオンラインで始めました。校長先生方からオンラインで授業ができることを実感していただきました。



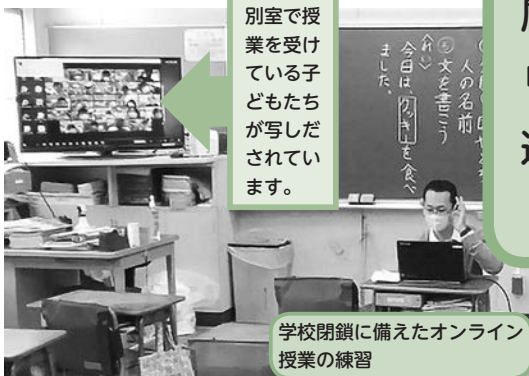
先生方の研修もオンラインで始まり
ました。



ICT教育推進委員会の先生方が同時双方向型のオンライン授業を研究し、その成果を各校の先生方に広め、所属校のハイブリッド学習を推進しました。
(9～11月)



別室で授業を受けている子どもたちが写しだされています。



学校閉鎖に備えたオンライン授業の練習

全員黒板の方に向いていますが、班学習(対面学習)ができています。



GIGAスクール構想とウイズコロナの両立

現在、瑞穂町では以下の成果を見出しています。

- 先生方も、子どもたちも、だいぶタブレット型パソコンに慣れ、特に授業ではウェブ会議システムを活用した、いわゆるハイブリッド学習ができるようになりました。上の写真のようにタブレット端末を通じてのリモート(遠隔)授業や対面学習が普段の授業の中で取り入れられています。
- 万が一、コロナ等による学校閉鎖が続いた場合、5日目から家庭での同時双方向型のオンライン授業ができるよう、ほぼ準備が整いました。
(一斉休校の場合は令和2年12月から、単独休校の場合は令和3年4月から、ただし小学1・2年生は、動画配信)

3 学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症拡大の状況については引き続き注視しているところですが、そのような中でも町内の子どもたちの「学びの保障」について考えていかなければなりません。

現在、町内小・中学校では、いわゆる3密（密閉・密集・密接）を回避するためにさまざまな工夫を考えて感染対策を行っています。子どもたちがよく使用する用具や場所等の消毒はもちろん、机に飛沫防止ガードを設置したり、ウェブ会議システムによるオンライン集会をしたりするなど、各学校では子どもたちの学びの機会を保障するための取り組みを行っています。町教育委員会としても学校を支援し、対策を進めていきます。



密閉を避ける（サーキュレーターで素早い換気）



密集を避ける（オンライン集会）



密接を避ける（飛沫防止ガード）



校舎出入口での手指消毒

【問合せ】教育指導課指導係 ☎557-6694

第2回ノートまとめコンクール

瑞穂町の各小・中学校では、放課後学習「学びのテーマパーク」の一環で、思考力の向上を図るためにノートまとめの活動に取り組んでいます。

第2回ノートまとめコンクールでは学校の教員も審査に参加しましたが、第1回に比べて応募数も増え、ノートのまとめ方も充実していました。

今回の入賞者をお知らせします。

●入賞者（敬称略）

| 賞 | 学年 | 学校名・氏名 | | | | | | | | |
|------|-------|--------|--------|----|--------|----|--------|----|-------|--|
| 最優秀賞 | 小学校3年 | 四小 | 芦野 莉音 | | | | | | | |
| | 小学校4年 | 二小 | 大丸 陽南子 | 二小 | 露木 茅乃 | 四小 | 鳥海 紗々 | | | |
| | 小学校5年 | 一小 | 松尾 香凜 | 三小 | 小俣 琴音奈 | | | | | |
| | 小学校6年 | 二小 | 島田 鈴音 | 二小 | 野島 歩花 | 二小 | 水野 史哉 | 三小 | 小林 理央 | |
| 優秀賞 | 小学校4年 | 三小 | 吉田 陽里 | 三小 | 梅本 愛唯 | 四小 | 大関 美羽 | | | |
| | | 一小 | 内田 有希 | 二小 | 丹生 芽那 | 三小 | 佐藤 杏香 | 三小 | 堀澤 橙 | |
| | 小学校5年 | 四小 | 當間 凰土朗 | | | | | | | |
| | | 一小 | 穴澤 明夏 | 二小 | 秋吉 匠 | 二小 | 福田 智雪 | 三小 | 古谷 和輝 | |
| | 小学校6年 | 四小 | 高橋 春乃 | 四小 | 山内 心遥 | 四小 | 照屋 一華 | | | |
| | | 一小 | 星野 優心 | 二小 | 石川 美月 | 二小 | 山口 陽向 | 二小 | 中西 優月 | |
| | | 二小 | 森 愛蘭 | 三小 | 池谷 咲和 | 三小 | 森田 莉彩 | 三小 | 矢作 愛菜 | |
| | | 三小 | 小布施 遼咲 | 三小 | 池谷 漣 | 三小 | 黒澤 優香 | 三小 | 山内 瑛太 | |
| | | 三小 | 森田 留菜 | 三小 | 野本 奏乃夏 | 三小 | 相川 結愛 | 四小 | 小俣 亜子 | |
| | | 四小 | 根津 聖羅 | | | | | | | |
| | 中学校1年 | 瑞中 | 坂庭 かの子 | 二中 | 藤井 翔騎 | 二中 | 村上 ナミ子 | | | |
| | 中学校2年 | 瑞中 | 門間 愛実 | 瑞中 | 竹原 由夏 | 瑞中 | 長坂 奏和 | 二中 | 池戸 美尋 | |

瑞穂町小学生クイズ大会に向けて

瑞穂町の各学校では、今年度から地域未来塾 放課後学習「学びのテーマパーク」を実施しています。

途中、新型コロナウイルス感染症防止による中止等もありましたが、各児童・生徒ががんばって取り組んでいます。

この「学びのテーマパーク」を実施するだけでなく、教育委員会事業として「ノートまとめコンクール」も行うなど、関連する事業を通して、児童・生徒の学ぶ意欲を高めています。

事業の一環として、小学生が取り組んだ成果を生かした「瑞穂町小学生クイズ大会」を実施しますので、奮ってご参加ください。

<対象>

小学校4年生～6年生の児童

※本来は、集まった形での実施を2月6日（土）に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、2月中にオンラインで実施します。

<クイズで出題する問題>

出題は以下の通りです。

- (1) 第1回及び第2回ノートまとめコンクールの該当学年の問題
- (2) ふるさと教育推進委員会で作成したふるさと教育「みずほ学」に関する問題
- (3) 町学力調査で課題となった単元を基にした、教育指導課で改編した問題

その他、児童にアンケートを実施した内容からも出題します。問題数は15問程度です。

<問題例（実際に出されるクイズ例）>

●小学校4年（町学力調査で課題となった単元を基にした、教育指導課で改編した問題）

「しま」をローマ字で書くと、一つはS I M Aですが、もう一つ書き方はあります。

S □ I M A

ですが、□に入るアルファベットは

- 1 Y
- 2 F
- 3 H

(答え3)

●小学校5年（ふるさと教育推進委員会で作成したふるさと教育「みずほ学」に関する問題）

瑞穂町ではどのような町づくりを目指しているでしょうか。

- 1 みんなに ずっと ほこれるまち
- 2 みらいに ずっと ほこれるまち
- 3 みどりを ずっと ほこれるまち

(答え2)

●小学校6年（第1回ノートまとめコンクールの該当学年の問題）

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| そ | し | て | . | ミ | シ | ン | を | 使 | っ | こ | ぬ | っ | た |
| ら | 最 | 後 | に | | | | | | | と | い | う | の |
| る | . | こ | の | 最 | 後 | が | 重 | 要 | な | 。 | 最 | 後 | に |
| | | | | と | す | る | こ | と | と | よ | り | が | ん |
| し | ょ | う | と | 糸 | が | と | れ | に | く | い | | | |

(第1回ノートまとめコンクール 瑞穂一小6年 吉野剣史郎さんの作品より)

上の□に入る言葉（同じ言葉）は何でしょう。

- 1 なみぬい
- 2 玉むすび
- 3 返しぬい

(答え3)

結果等については、2月下旬にホームページで掲載する予定です。これからも、子どもたちの学習への取組に対して応援よろしくお願いたします。

【問合せ】教育指導課指導係 ☎557-6694

令和2年度 学校給食に関するポスターコンクール審査結果

給食センターでは、学校給食や食について広く啓発を図るため、ポスターコンクールを実施しています。

(共催：東京都学校給食会)

今年度は羽村市、瑞穂町の小・中学校に在学する児童・生徒から266点の応募をいただきました。審査の結果、最優秀賞4点(瑞穂町から1点)、優秀賞4

点(瑞穂町から2点)、入賞21点(瑞穂町から4点)が決定しました。

最優秀作品を掲示した給食配送車が羽村市及び瑞穂町内を走りますので、ぜひご覧ください。

瑞穂町からの受賞者は、次のとおりです。(敬称略)

最優秀賞

芦野 千花
(四小4年)

優秀賞

須長 千成
(四小5年)

入賞

藤谷 咲世 (三小5年) 櫻井 円 (三小6年)
山内 心遥 (四小5年) 小山 七海 (五小6年)



詳しくは「羽村・瑞穂地区学校給食センター公式サイト」(<http://www.kyushoku.or.jp>)をご覧ください。

【問合せ】羽村・瑞穂地区学校給食センター 給食課管理給食係 ☎554-2084

第3回 瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール

普段の暮らしの中で疑問や不思議に思ったこと、興味があることの課題を見つけ、図書館資料を有効に活用して調べ、まとめ、発表することを通して、課題解決力を育成するとともに、図書館の利用価値を学ぶことを目的とし、作品を募集しました。

応募総数は小・中・高校生と一般の部を合わせて4部門で460作品でした。

審査の結果、各部門を合わせて19作品の受賞が決定し、11月11日にけやき館で表彰式が行われました。

入賞者(敬称略)



| 賞 | 学校名 | 学年 | 氏名 | 作品名 |
|----------------------|----------|----|-------|-------------------------------|
| <小学生の部> | | | | |
| 最優秀賞 | 一小 | 3年 | 浜辺 和好 | 私とぬげがら |
| 優秀賞 | 一小 | 5年 | 松尾 香凛 | 星座と星座の物語 |
| 優秀賞 | 一小 | 5年 | 穴澤 明夏 | びっくり発見!日本の歴史 ~縄文時代編~ |
| 優秀賞 | 三小 | 3年 | 清水 桃花 | おりがみ<origami> ~世界中であいされる日本文化~ |
| 佳作 | 一小 | 5年 | 浜辺 美結 | 抹茶 Green tea for ceremonies |
| 努力賞 | 四小 | 4年 | 芦野 千花 | バレーボールについて |
| 努力賞 | 二小 | 4年 | 濱竹 紗綺 | 想像旅行に出かけよう |
| 努力賞 | 五小 | 2年 | 川村 征義 | 6月~9月の六とう山のこん虫図鑑 クイズつき |
| <中学生の部> | | | | |
| 最優秀賞 | 二中 | 2年 | 江尻ゆうな | 世界で働く人々 |
| 優秀賞 | 瑞中 | 3年 | 加藤 麻衣 | 天気の新発見! |
| 優秀賞 | 二中 | 2年 | 鈴木 芽梨 | 蟻ノ国建国軌跡 女王蟻はどうやって子供を育てているのか |
| 佳作 | 瑞中 | 3年 | 鈴木 杏 | 飛行機・空港について |
| 佳作 | 瑞中 | 3年 | 松本 純佳 | 한글 ハングル |
| <高校生の部> | | | | |
| 最優秀賞 | 瑞穂農芸高等学校 | 3年 | 比留間瑠海 | 家畜の上下関係について |
| 優秀賞 | 瑞穂農芸高等学校 | 3年 | 西村 京香 | 災害から72時間を生きぬくために |
| 優秀賞 | 瑞穂農芸高等学校 | 2年 | 池島 美空 | 「無邪気な感想」時を経て「変化した感想」 |
| 佳作 | 瑞穂農芸高等学校 | 1年 | 毛塚 心渚 | 瑞穂町に生息する動植物 |
| <一般の部> | | | | |
| 最優秀賞 | | | 高橋 公江 | 草木の彩り |
| 優秀賞 | | | 梅田 美枝 | 絵本で知る戦争 |

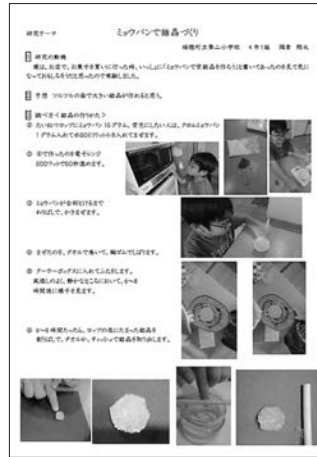
東京都小学生科学展

東京都教育委員会が主催する「東京都小学生科学展」が行われました。

毎年、町内の各小学校から代表1名の作品を出品し、その中から瑞穂町の代表を決定していますが、今年度は隅倉翔太君（二小）が代表に選ばれました。

各小学校の作品での子どもたちの視点のよさには感心させられ、レポートをまとめる力も向上していることが感じ取れました。

これからも子どもたちが身の回りで不思議に思ったことに興味関心を持ち、探究していく力を伸ばしていくことを期待しています。



中学生の「税についての作文」

『第54回中学生の「税についての作文」』において、鈴木杏さん（瑞中3年）が青梅税務署 署長賞に選ばれました。また、一日税務署長としてイベントにも参加しました。

この他にも、南関東コンクールでは木村彩乃さん（瑞中3年）が東京国税局管内納税貯蓄組合連合会のコンクールで優秀賞を受賞しました。

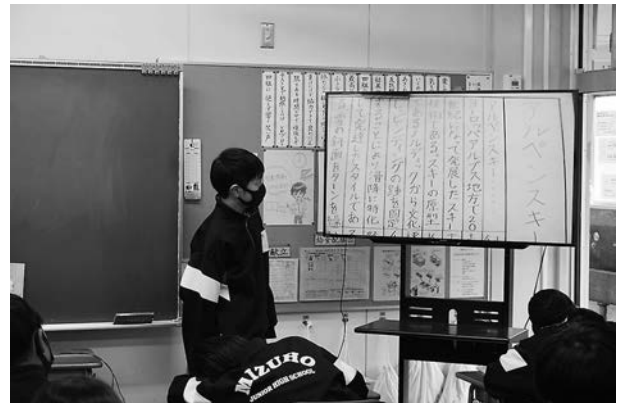
文章力の成長とともに、社会に参画することについても考えを深めていることが、今回の結果に繋がったことと思います。今後の活躍も大変楽しみです。



ICT教育環境整備 中学校教室に大型表示装置（液晶テレビ）設置

防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用し、ICT教育環境整備の一環として、各中学校の教室に大型表紙装置（液晶テレビ）を設置しました。

各小学校においては平成30年度及び令和元年度に設置が完了しており、今後、町内の小・中学校で、映像を通して理解を深める学習を進めていきます。



第36回 青少年の主張意見発表会入賞者

12月5日にスカイホール大ホールで意見発表会が行われました。応募数842点の中から審査会を経て、当日は16名の青少年が堂々と意見発表を行いました。

●入賞者（敬称略）

小学生の部

小林 理央（三小）
「すべての人が幸せに生きる権利を持っている」



優秀賞

青木みなみ（二小） 齋藤早和子（一小）
石川 美月（二小） 白石 太陽（四小）
大澤 詩織（五小） 西村 陽莉（四小）
川杉 颯太（二小）

最優秀賞

中学生の部

高野 愛彩（瑞中）
「言葉の課題」



優秀賞

池戸 美尋（二中）
小泉 瑛蓮（瑞中）
小島アルジャン（瑞中）
長坂 奏和（瑞中）

最優秀賞

高校・一般の部

瀧瀬 妃菜（瑞穂農芸高等学校）
「『瑞穂町の未来の姿』を目指して」



優秀賞

佐久間 南（瑞中教諭）
村山 文哉（町職員）
横川 朋美（町職員）

令和2年度 瑞穂町文化奨励賞・スポーツ優秀賞

●受賞者（敬称略）

| 賞 | 種目 | 氏名・団体名 | 主な成績 |
|-------------|------|---------------|---|
| 文化 奨励賞 | 書道 | 堀澤 橙 | ○第56回全日本書初め大展示会公募の部 日本武道館会長賞（令和2年2月23日受賞） ○第32回全国ひらがな・かきかたコンクール 文部科学大臣賞（令和2年8月10日受賞） |
| | | 鳥海 大輔 | ○第58回J A共済東京都小・中学生書道コンクール半紙の部 東京都知事賞（令和元年11月13日受賞） |
| | 吹奏楽 | 瑞穂中学校 吹奏楽部 | ○第19回東日本学校吹奏楽大会 銀賞（令和元年10月12日受賞） |
| スポーツ 優秀賞 | 野球競技 | 吉川 颯太 | ○令和2年度夏季岩手県高等学校野球大会 準優勝 |
| | | 中野 真人 | ○令和2年度夏季埼玉県高等学校野球大会 準優勝 |

臨時図書室を開設します

瑞穂町図書館の改修工事に伴い、2月2日からスカイホール2階に臨時図書室を開設します。

開室日や開室時間、サービスの内容等は瑞穂町図書館と同じですが、閲覧席がありませんので、長時間の滞在ができません。予めご了承ください。

なお、工事完了予定の令和4年3月末まで瑞穂町図書館は休館になります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

●開室曜日と時間 火～日曜日 午前9時～午後6時
木曜日 午前9時～午後8時

休室日等については「瑞穂町図書館公式サイト」（<https://www.library.mizuho.tokyo.jp>）をご覧ください。



【問合せ】 図書館 ☎557-5614

瑞穂町郷土資料館 けやき館 / 耕心館

けやき館 【問合せ】 ☎568-0634
 耕心館 【問合せ】 ☎568-1505

けやき館企画展「清水家文書展 —資料からみる村の歴史—」

10月10日～11月29日

昨年は町政施行80周年にあたり、長岡地区の歴史を通して村・町の歩みを伝える展示として、長谷部良夫氏ならびに瑞穂古文書を読む会の協力を得て開催しました。

長岡地区の「長谷部新田」は、江戸時代の享保年間（今から300年ほど前）に長谷部勘次郎を名主とし、近隣の村々から出百姓を集めて開発された新田村落です。「清水家文書」は、長谷部新田の歴史を伝える資料として町の有形文化財に指定され、当館が所蔵しています。

期間中は、地元長岡地区の方はもとより、町内外から多くの方がご覧いただきました。また、関連イベントとして、瑞穂古文書を読む会のメンバーや当館学芸員によるギャラリートークを3回実施しました。特に、バースアイ瑞穂の上に江戸時代の村絵図を重ねた試みは好評で、多くの方が当時と現在を比較しながら興味を持ってくださいました。



耕心館・けやき館連携事業 “癒し” 拓くアート2020

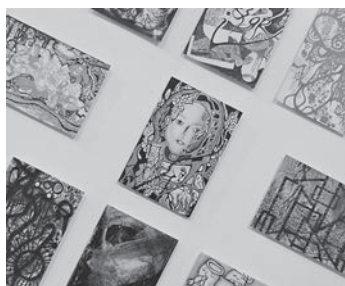
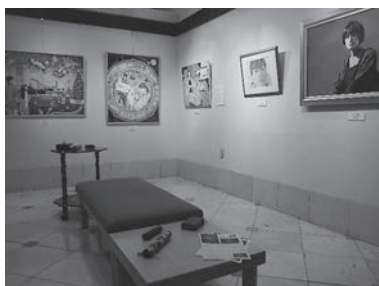
二つの場による自己表現展 ひまわりアーティストクラブ×平川病院<造形教室>
—万華郷 同じ世界のない不思議— 10月3日～10月18日

10月3日から10月18日まで、瑞穂町地域活動支援センターひまわりアーティストクラブと八王子市美山町にある平川病院<造形教室>のご協力のもと、展覧会を開催しました。

ひまわりアーティストクラブと平川病院<造形教室>。この二つの場で社会活動に困難を抱える人たちが集い自己表現の活動を行っています。その表現活動には作者の皆さんの深いこだわりと、執念が感じ取られ、作品を鑑賞する私たちの心を震わせ、表現活動の意欲を刺激したことでしょう。

また、会期中には、平川病院<造形教室>主宰の安彦講平氏による万華鏡制作のワークショップを会期中4日間8回行いました。表面鏡という特殊な鏡とオイルを使用した本格的な万華鏡で、子どもから大人までご参加いただき、自身で作った万華鏡の美しさ感動しておられました。

今回のような表現者と鑑賞者の双方向性の交流を通じて、お互いの人生を多様、豊かにする場を創出できるような展覧会を続けてまいります。



瑞穂ふるさと大学2020

瑞穂町には豊かな自然や美しい景観、そして先人が築いてきた歴史や文化など貴重な遺産が今も大切に引き継がれています。「瑞穂ふるさと大学」では町の多くの魅力を再発見し継承することを目的に、歴史・観光・自然の3コースに分かれて①講座②地域めぐりを行い、その締めくくりとして③瑞穂ふるさと検定を実施しました。今年度はコロナ禍のため10月24日から12月20日にかけて集中して実施しました。教育委員会職員や瑞穂農芸高等学校の参加があり、充実した活動ができました。



歴史コース講座「瑞穂町の歴史」地域の活性化を語る瑞穂農芸高等学校生徒

令和3年成人式

1月10日、スカイホールにて令和3年成人式を行い、当日は245人の新成人が参加しました。新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下、受付での検温と消毒、マスクの着用、座席を1席ずつ空けるなど感染防止対策を徹底し、例年より規模を縮小して式典を開催しました。

新成人代表による意見発表や謝辞では、家族・友人や町・社会に対する感謝が述べられました。また有志で結成された成人式実行委員会によるビデオレターでは、中学校時代の恩師から新成人に向けたメッセージなどが上映されました。



教育委員会委員談話

第23回：瑞穂町教育委員会 教育長職務代理者 関谷 忠

コロナ禍にあって「不要不急の外出はお控えを」という言葉をよく耳にします。学校でいえば、なんといっても学習が『要』でしょう。「学力をつける」これが小中問わず最優先課題です。では、部活動や学校行事は『不要』でしょうか。先日行われた『第36回青少年の主張意見発表会』で、勉強は何のためにするのか悩んだ、という発表がありました。勉強なんて無駄じゃないかと思ったある日、先生に「学校での勉強

は、やがて社会に出た時に役に立つんだよ。行事に取り組むのも、音楽を聴いたり読書をするのも、みんな無駄じゃないんだ。」と教えられたそうです。そうなんだ。無駄と思えるものが、人生には大事なのだ。発表を聞きながら、私はしきりに頷いていました。



教育委員会定例会・臨時会報告

前号でお知らせした以降、9月から12月まで定例会を4回、臨時会を2回開催しました。

主な議決事項、報告事項等は、次のとおりです。

〈議決事項〉

- ・第2次瑞穂町生涯学習推進計画策定庁内検討会要綱の策定について
- ・瑞穂町公立学校事案決定規程の一部を改正する訓令
- ・瑞穂町教育委員会教育長職務代理者の指名について
- ・令和2年度一般会計補正予算（第8号）の原案中教育に関する部分の意見聴取について
- ・瑞穂町図書館臨時図書室運営要綱について

〈協議事項〉

- ・令和3年度一般会計教育費予算の編成について

〈報告事項〉

- ・令和2年度瑞穂町文化賞表彰被表彰者について

- ・令和2年度瑞穂町スポーツ賞表彰被表彰者について
- ・瑞穂町教育委員会事務局職員の人事異動について
- ・瑞穂町立学校における新型コロナウイルス感染者の発生について
- ・瑞穂町教育相談室専任相談員の任命について
- ・瑞穂町図書館改修工事請負契約について
- ・瑞穂町自然保護等指針（令和元年度調査）のまとめについて

教育委員会の会議は、毎月1回（原則として、第4木曜日）開催し、傍聴することができます（非公開の事項を除きます）。

開催日時および会場は広報みずほに掲載されます。また、ホームページから開催内容や過去の会議録を見ることができます。

【問合せ】学校教育課庶務係 ☎557-6682

本紙に掲載している情報は、令和3年1月19日時点のものです。新型コロナウイルスの影響により、イベント等の予定が中止、変更となる場合があります。最新情報は、町ホームページをご覧ください。